



ホスト ルートの ECMP の設定

この章では、Cisco NX-OS スイッチにホスト ルートの等コスト マルチパス (ECMP) プロトコルを設定する方法について説明します。

この章は、次の内容で構成されています。

- 「ホスト ルートの ECMP に関する情報」 (P.9-1)
- 「ホスト ルートの ECMP のライセンス要件」 (P.9-1)
- 「ホスト ルートの ECMP の前提条件」 (P.9-2)
- 「デフォルト設定」 (P.9-2)
- 「ホスト ルートの ECMP の設定」 (P.9-2)
- 「ホスト ルートの ECMP 設定の検証」 (P.9-4)
- 「ホスト ルートの ECMP の設定例」 (P.9-4)
- 「その他の関連資料」 (P.9-4)
- 「ホスト ルートの ECMP の機能の履歴」 (P.9-5)

ホスト ルートの ECMP に関する情報

ホスト ルートの ECMP のサポートをイネーブルにすると、すべてのユニキャスト ホスト ルートは最長プレフィックス 一致アルゴリズム (LPM) テーブルにプログラムされます。ホスト ルートの ECMP はスイッチ ハードウェアで提供されます。 **hardware profile unicast enable-host-ecmp** コマンドを使用して、CLI でこの機能を設定します。



(注) ECMP が IPv4 (/32) ルートおよび IPv6 (/128) ルート用に設定されている時、ホスト エントリはホスト テーブルではなく LPM ルーティング テーブルに保存されます。

ホスト ルートの ECMP のライセンス要件

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

| 製品 | ライセンス要件 |
|-------------|--|
| Cisco NX-OS | ホスト ルートの ECMP にはライセンスは不要です。ライセンス パッケージに含まれていない機能はすべて Cisco NX-OS システム イメージにバンドルされており、追加費用は一切発生しません。NX-OS ライセンス方式の詳細については、『Cisco NX-OS Licensing Guide』を参照してください。 |

ホスト ルートの ECMP の前提条件

ホスト ルートの ECMP には次の前提条件があります。

- このコマンドを使用する前に、**system urpf disable** コマンドを使用して、スイッチのユニキャスト リバース パス転送 (URPF) をグローバルにディセーブルに設定し、設定を保存してから、スイッチをリロードすることを推奨します。URPF をグローバルにディセーブルにすると、LPM テーブル サイズが拡張されます。

デフォルト設定

ホスト ルートの ECMP はデフォルトでディセーブルです。

ホスト ルートの ECMP の設定

ここでは、次の内容について説明します。

- 「ホスト ルートの EMCP 機能のイネーブル化」(P.9-2)

ホスト ルートの EMCP 機能のイネーブル化

ホスト ルートの ECMP 機能をイネーブルにできます。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. (任意) **system urpf disable**
3. **hardware profile unicast enable-host-ecmp**
4. **copy running-config startup-config**

手順の詳細

| | コマンド | 目的 |
|-------|---|-------------------------------------|
| ステップ1 | <code>configure terminal</code> Example: switch# <code>configure terminal</code> switch(config)# | コンフィギュレーション モードを開始します。 |
| ステップ2 | <code>system urpf disable</code> Example: switch(config)# <code>system urpf disable</code> | (任意) スイッチの URPF をグローバルにディセーブルにします。 |
| ステップ3 | <code>hardware profile unicast enable-host-ecmp</code> Example: switch(config)# <code>hardware profile unicast enable-host-ecmp</code> | スイッチのホストルートの ECMP をグローバルにイネーブルにします。 |
| ステップ4 | <code>copy running-config startup-config</code> Example: switch(config)# <code>copy running-config startup-config</code> | この設定変更を保存します。 |

ホストルートの EMCP 機能のディセーブル化

ホストルートの ECMP 機能をディセーブルにできます。

手順の概要

1. `configure terminal`
2. `no hardware profile unicast enable-host-ecmp`
3. `copy running-config startup-config`

手順の詳細

| | コマンド | 目的 |
|-------|--|------------------------|
| ステップ1 | <code>configure terminal</code> Example: switch# <code>configure terminal</code> switch(config)# | コンフィギュレーション モードを開始します。 |

| | コマンド | 目的 |
|-------|---|--|
| ステップ2 | <pre>no hardware profile unicast enable-host-ecmp</pre> <p>Example: switch(config)# no hardware profile unicast enable-host-ecmp</p> | スイッチ上のホストルートのECMPをグローバルにディセーブルにし、関連するすべての設定を削除します。 |
| ステップ3 | <pre>copy running-config startup-config</pre> <p>Example: switch(config)# copy running-config startup-config</p> | この設定変更を保存します。 |

ホストルートのECMP設定の検証

ホストルートのECMP設定情報を表示するには、次のいずれかの作業を行います。

| コマンド | 目的 |
|---|--|
| <code>show hardware profile status</code> | ハードウェアテーブルのユニキャストおよびマルチキャストルーティングエントリを表示します。 |
| <code>show running-config</code> | 実行システムコンフィギュレーションを表示します。 |

ホストルートのECMPの設定例

次に、URPFをディセーブルにしてホストルートのECMPを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# system urpf disable
switch(config)# hardware profile unicast enable-host-ecmp
switch(config)# copy running-config startup-config
```

次に、ホストルートのECMPをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no hardware profile unicast enable-host-ecmp
switch(config)# copy running-config startup-config
```

その他の関連資料

ホストルートのECMPの実装に関する追加情報については、次の項を参照してください。

- 「関連資料」(P.9-5)
- 「ホストルートのECMPの機能の履歴」(P.9-5)

関連資料

| 関連項目 | 参照先 |
|-------------------------|---|
| ホストルートの ECMP の CLI コマンド | 『Cisco Nexus 3000 Series Command Reference』 |

ホストルートの ECMP の機能の履歴

表 9-1 は、この機能のリリースの履歴です。

表 9-1 ホストルートの ECMP の機能の履歴

| 機能名 | リリース | 機能情報 |
|--------------|-------------|---------------|
| ホストルートの ECMP | 5.0(3)U1(2) | この機能が導入されました。 |

